

第5回ジオパーク下仁田協議会学術部会

日時 平成29年2月2日(木) 午後5時00分

場所 下仁田町自然史館

所 属	氏名	出・欠		所 属	氏名	出・欠
群馬県立自然史博物館	高桑 祐司	出		日本ジオパーク下仁田応援団	里見 哲夫	出
下仁田自然学校	真野 勝友	出		中小坂鉄山研究会	原田 喬	欠
群馬県立自然史博物館	菅原 久誠	出		農林大学校	渡辺 悟	出
下仁田町歴史館	横田 孝三	出		群馬大学名誉教授	吉川 和男	欠
下仁田町自然史館	中村 由克	欠		下仁田町自然史館	鈴木 英男	出
下仁田町自然史館	関谷 友彦	出		地域おこし協力隊	片山 美雪	出

報告

(事務局)

- ・自然史館 博物館登録の方針について配布資料をもとに説明をした。

(菅原)

- ・下仁田 茂垣周辺のカンラン岩、蛇紋岩について調査を行っている。
- ・県博ミュージアムスクール(全10回)を宮室の逆転層周辺で実施。地質、植物、動物など自然科学全般の学習を行った。発表会を3月11日に実施。
- ・県博おとなの自然史博物館で県内のカタツムリを調査、下郷の鍾乳洞で洞窟特有のカタツムリの見学などを行った。

(里見)

- ・はねこし峡に絶滅危惧種である「オカルガヤ」があった。ジオサイトとして調査していくべき。

(高桑)

- ・県博ぐんまの自然のいまを2月19日まで実施。下仁田ジオパークの展示もある。

協議事項

(1) 再審査指摘項目への対応について

- ・全庁的な取り組みとあるが、町の防災担当(総務課)が協議会に入っていない。防災教育が注目されているので教育部会に参加してもらうのはどうか。
- ・地域の課題、ジオパークの目標がぼんやりしているので明文化していく必要がある。

- ・町民全体を対象とした行事を実施するべき。
- ・テーマの変更は審査時に印象が良くないので、今のテーマを充実させていく方が良いのでは。
- ・前回の再認定審査時の報告書を共有してほしい。
- ・会議の後は顛末ではなく議事録を出してほしい。

(2) ジオサイト文献リストの検討とサイトの再選定について

配布資料のジオサイトのリストを事務局から説明し、内容と新規パンフレットへの掲載箇所を検討した。

- ・パンフレットに掲載する際は「ジオサイト」とそれ以外のものを「見どころ」として掲載する。
- ・梅沢峠道⇒小坂峠道の説明の中で案内する
- ・フェンスター⇒クリッペのすべり面とセットでジオサイトにする
- ・四ッ又山⇒ジオサイトに追加
- ・金剛萱の下仁田ローム層⇒パンフレットには「簡単に行けない」と注意書きを付けて掲載をする
- ・河岸段丘と馬山遺跡群⇒山城が多いということを解説に加えていく
- ・保護するサイトに看板を設置する際は法的な根拠を示す必要がある。カメラ必須。
- ・ジオサイトの整備ができている場所から優先的に調査を進めていきたい。まずははねこし峡か。
- ・パンフレットは夏までに作成したい。
- ・ジオサイトは今回の修正をまとめて次回もう一度検討する。

(3) 学術奨励金制度について

配布資料の学術研究奨励金募集要項をもとに内容を検討した。

<修正箇所>

項目	変更前	変更後
1 目的	本事業は下仁田ジオパークの学術資料の…	本事業は下仁田ジオパークの振興と学術資料の…
2 助成対象研究	現地踏査を伴う以下の研究…	現地踏査を伴う以下の個人またはグループの研究…
3 応募条件	平成 29 年 1 月末までに報告書の提出、…	平成 30 年 3 月 20 日までに報告書の提出、…
	学術雑誌などへの公的機関への発表	学術雑誌等への発表
4 補助内容	書籍を除く物品購入	削除
5 応募方法		電子申請不可を加える
	送付すること。	提出すること。
6 審査	当地域に有益な研究から	削除
	備考：当地域に有益な研究例	すべて削除
表題	下仁田ジオパーク学術研究奨励事業	下仁田ジオパーク研究奨励金